



プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が 2022年4月1日から施行されます

当社では社会的な責務を果たすべく、排出事業者が排出の抑制及び再資源化等を促進するために取り組むべき措置を積極的に行っています

【排出の抑制】

- ・ 本社ならび工場で使用する事務用品について、プラスチックに代替する素材を使用している製品を使用する。
- ・ 本社ならび工場で使用する事務用品について、なるべく長期間使用し、過剰な使用を抑制し再利用する。
- ・ 使い捨てフィルターを使用している現場について洗浄再生可能なフィルターに切り替える。
- ・ 使い捨てフィルターを使用している現場について既存のフィルターが洗浄再生可能な仕様の場合には廃棄せずに洗浄して再利用をお勧めする。



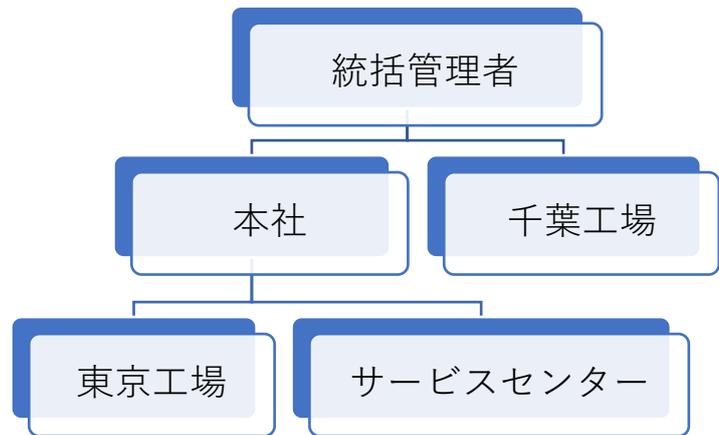
【教育訓練】

- ・ 環境行動月間を制定し、従業員に対してプラスチックごみの削減やリサイクルに関する知識や意識の向上を目的としたセミナーを実施してプラスチック廃棄物の抑制及び再資源化等の重要性、意義を理解してもらい、実践してもらおう機会を設ける。



【管理体制の整備】

- ・ 本社に統括管理責任者を置き、各事業所に責任者を選任する。各事業所のプラスチック廃棄物の排出量を管理し、排出抑制の実施状況を把握することでプラスチック廃棄物の抑制及び再資源化等の取り組みを促進する。

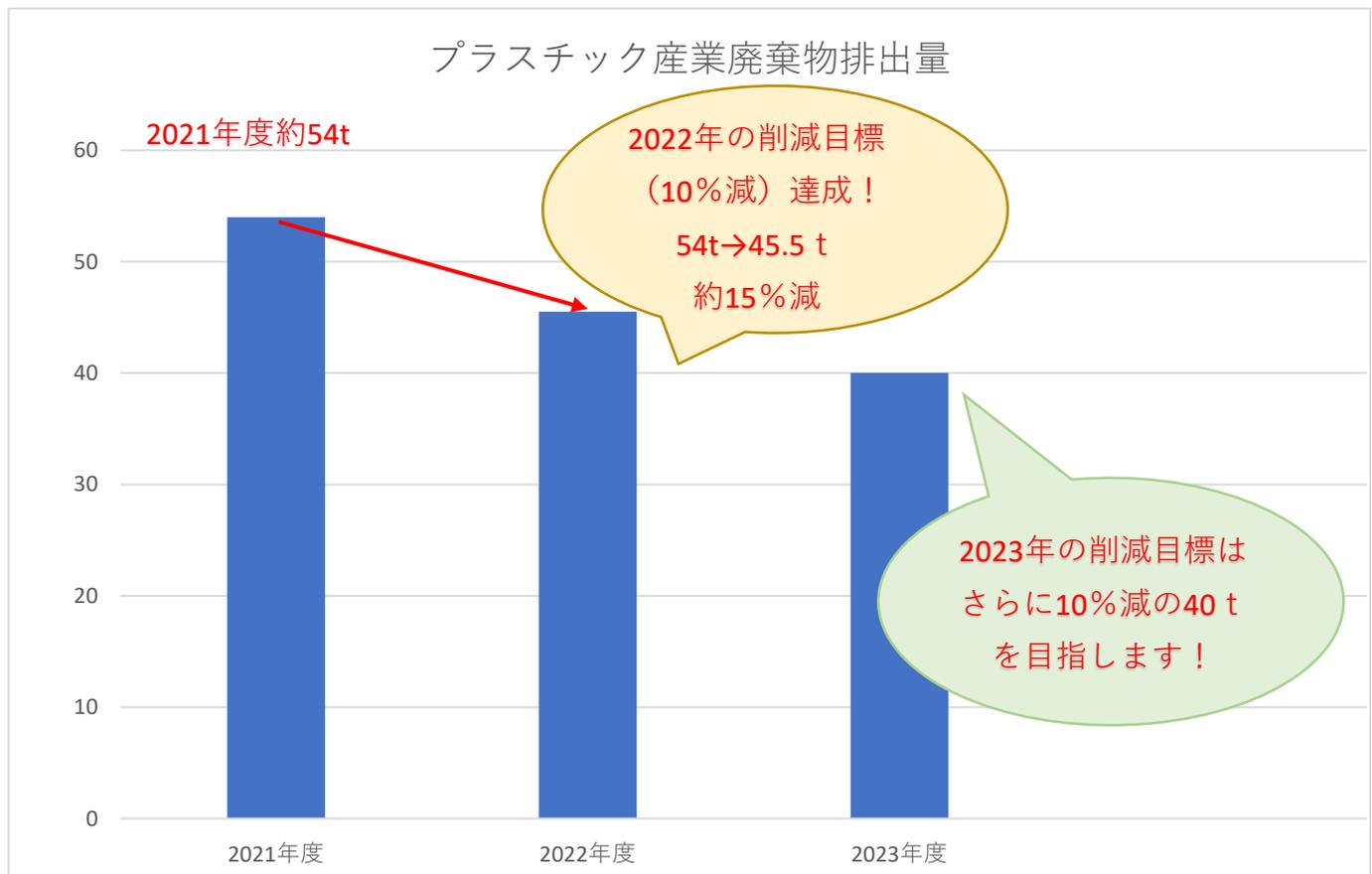


【関係者との連携】

- ・ 取引先に対して、使い捨てフィルターから洗浄再生可能なフィルターへの切り替え、もしくは既存のフィルターを廃棄せずに洗浄再生を行うことをお願いする。
- ・ プラスチック素材による過度な梱包などは控えて、なるべく代替する素材を使用する。

【情報の公開】

- ・ ホームページにおいて毎年度、当該年度の前年度におけるプラスチック使用製品産業廃棄物の排出量ならびに排出抑制及び再資源化等の情報を公表する。



※産業廃棄物管理票（マニフェスト）による集計結果

【2022年度に取り組んだ排出抑制の一例】



書類整理用のクリアファイルをプラスチック製品から紙製品に変更しました！

書類の整理やお客様へ書類をお渡しする際に使用していたプラスチックのクリアファイルを紙製品に変更しました。会社のロゴを自社の複合機で印刷できるのでコストダウンにもなりました。



来客用コップを紙コップに変更しました！

来客用に使用していた使い捨てのプラスチックのコップを紙コップに変更しました。従業員は繰り返し使用できる陶器のコップやマイボトルを使用しています。

【2023年度に予定している排出抑制の取り組みの一例】



窓付き封筒の窓の素材をプラスチックから紙に変更しました

分別が必要なセロファン製の窓をグラシン紙に変更しました。これによりプラスチックごみが削減され、さらにそのまま古紙としてリサイクル工場に持ち込むことが出来るようになりました。



ウォーターサーバーの設置、マイボトルを使用してプラスチック削減

社内にウォーターサーバーを設置。従業員がマイボトル・マイカップを使用し、ペットボトル等の不要なプラスチックの削減に取り組んでいます。